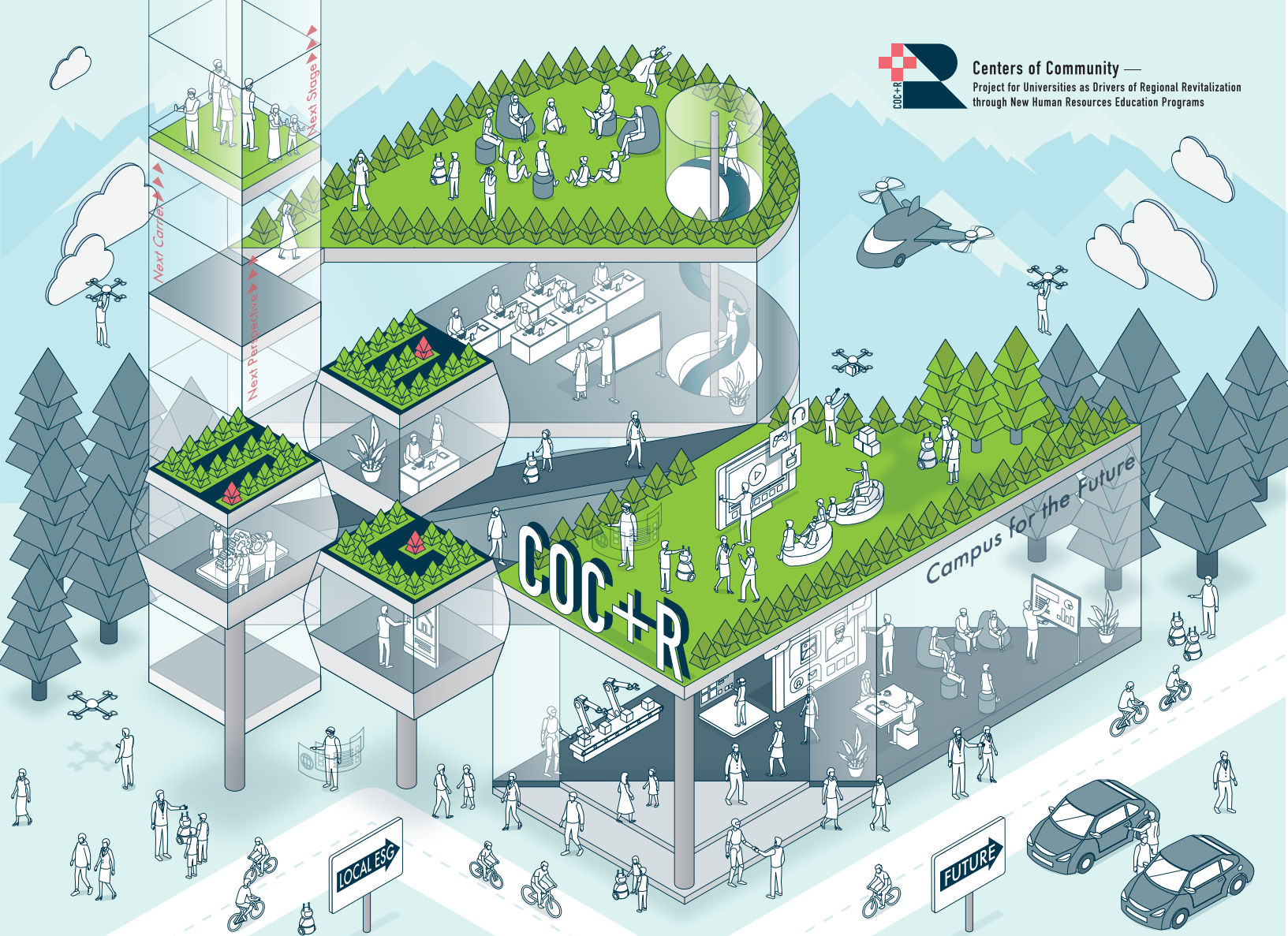




Centers of Community —
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization
through New Human Resources Education Programs



令和3年度 大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 (COC+R) 全国シンポジウム

人材育成から 人材輩出へ

2022.2.12 SAT - 2.13 SUN IN 富山

完全オンライン配信

ローカル ESG、
その地域らしい地方創生に向け、
地方大学が果たすべき役割とは？

第一部

日程：2022/2/12 (土) 13:30~17:30 (開場 12:45) 会場：富山国際会議場
基調講演：「ローカル ESG、これまでの延長線ではない産官学金の連携による、
その地域らしい地方創生に向け、地方大学が果たすべき役割とは？」
ワークショップ：「これからの地方大学と地域の連携の在り方、そして地方大学が輩出すべき人材とは？」

第二部

日程：2022/2/13 (日) 9:00~12:00 (開場 8:30) 会場：富山大学 黒田講堂
ワークショップ：「地方創生人材教育プログラム」と「地方大学が輩出すべき人材の地元就職」の因果関係とは？
~今後のプログラム構築に関する論点、因果モデル構築に向けた検証ポイントの明示~

主催

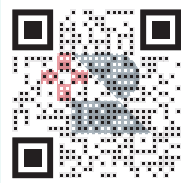
文部科学省「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 (COC+R)」 事業責任大学：信州大学 (幹事校)、山梨県立大学、岡山県立大学、徳島大学

参加申し込み

下記の URL または、右の QR コードより
事前登録をお願いします。

▼シンポジウム情報ページ
<https://coc-r.jp/information/r3-sympo/>

シンポジウム開催会場(富山県)での参加を可能としておりましたが、新型コロナウイルス感染症に対する
対応措置として、参加は全てオンライン参加に変更いたしました。



人材育成から 人材輩出へ

2022.2.12 SAT - 2.13 SUN IN 富山

完全オンライン配信

ローカル ESG、その地域らしい地方創生に向け、 地方大学が果たすべき役割とは？

第一部

【開催日時】 2022年2月12日（土）13:30～17:30
【会場】 富山国際会議場 メインホール・ホワイエ
【参加対象】 大学等教育機関関係者、地域金融機関、地域企業経営者、大学生 / 高校生、地域行政機関等 本テーマに関心のある皆様

【テーマ】 **人材育成から人材輩出へ**
～ローカル ESG、その地域らしい地方創生に向け、
地方大学が果たすべき役割とは？～

【プログラム】

- 12:45 開場
- 13:30 開会あいさつ 富山大学長 齋藤 滋
- 13:40 来賓あいさつ 富山県知事 新田 八朗 様
- 13:50 あいさつ 文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官 (兼) 地域学習推進課長 根本 幸枝 氏
- 14:00 テーマ説明 COC+R 統括コーディネータ 信州大学特任教授 矢野 俊介
- 14:10 **基調講演** 株式会社ニューラル代表取締役 CEO 夫馬 賢治 氏
「ローカル ESG、これまでの延長線ではない産官学金の連携による、その地域らしい地方創生に向け、地方大学が果たすべき役割とは？」
- 15:00 (休憩)
- 15:20 **ワークショップ** 4つの会場に分かれて開催
「これからの地方大学と地域の連携の在り方、そして地方大学が輩出すべき人材とは？」
～カーボンニュートラル 大学等コアリションの取組を題材に～
 - ①ゼロカーボン・キャンパス（地域で大学が先駆ける）
千葉商科大学 准教授 浜島直子 氏
信州大学 学術研究院 総合人間科学系 教授 林 靖人
 - ②地域ゼロカーボン（地域社会のトランジションに大学が関わる）
信州大学 学術研究院 人文科学系 准教授 茅野恒秀 氏
岡山県立大学 デザイン学部 教授 向山 徹
 - ③イノベーション（テクノロジーは大学が生み出す）
北陸先端科学技術大学院大学 教授（理事・副学長） 永井由佳里 氏
山梨県立大学 国際政策学部 准教授 杉山 歩
 - ④人材育成（地域ならではの特色をもった人材を育成する）
宮城大学 事業構想学群 教授 小沢晴司 氏
徳島大学 教授（副理事（地域連携担当）） 山中 英生
- 16:40 (休憩)
- 16:55 ワークショップ内容の共有
- 17:15 ワークショップ講評 富山大学 理事 武山 良三
- 17:20 開会あいさつ 信州大学長 中村 宗一郎
- 17:30 閉会

第二部

【開催日時】 2022年2月13日（日）9:00～12:00
【会場】 富山大学 黒田講堂

【プログラム】

- 8:30 開場
- 9:00 ワークショップ説明 COC+R 統括コーディネータ 信州大学特任教授 矢野 俊介
- 9:10 **ワークショップ**
「地方創生人材教育プログラム」と
「地方大学が輩出すべき人材の地元就職」の因果関係とは？
～今後のプログラム構築に関する論点、因果モデル構築に向けた検証ポイントの明示～
山梨県立大学 国際政策学部 准教授 杉山 歩
岡山県立大学 教授（副学長） 末岡 浩治
徳島大学 教授（副理事（地域連携担当）） 山中 英生
信州大学 教授（副学長） 林 靖人
（ファシリテーター 信州大学 特任教授 山本 美樹夫）
- 11:40 講評・開会あいさつ
- 12:00 閉会

第一部 登壇者紹介

基調講演

夫馬 賢治 氏 株式会社ニューラル代表取締役 CEO

東京大学教養学部（国際関係論専攻）卒、ハーバード大学大学院修士（サステナビリティ専攻）課程修了、サンダーバード・グローバル経営大学院 MBA 修了。2013年にサステナビリティ経営・ESG 投資コンサルティング会社を創業し現職。ニュースサイト Sustainable Japan 編集長、「NEWS PICKS NewSchool-ESG 人材養成」コースプロジェクトリーダー。著書に『超入門カーボンニュートラル』『データでわかる2030年地球のすがた』『ESG思考』など。

ワークショップ

浜島 直子 氏 千葉商科大学 基盤教育機構 准教授

2003年環境省入省。地球温暖化対策のための税の制度設計、自治体の温暖化対策のご支援、公害等による健康被害者への医療費支払制度の運営、東京電力福島第一原発事故後の敷地外除染業務等に携わる。主な研究分野は、炭素税とベーシックインカム、環境教育。

茅野 恒秀 氏 信州大学 学術研究院人文科学系 准教授

（財）日本自然保護協会勤務、岩手県立大学准教授を経て2014年より現職。著書に『環境問題の社会学』（共編著、2020年、東信堂）など。長野県地球温暖化対策専門委員として県ゼロカーボン戦略の策定に関わる。専門は環境社会学、社会計画論、サステナビリティ学。

永井 由佳里 氏 北陸先端科学技術大学院大学 理事（研究・国際担当）・副学長

2004年に北陸先端科学技術大学院大学に着任（2011年教授昇任）、ライフスタイルデザイン研究センター長、知識科学研究科長、国際イノベーションデザイン研究センター長等を歴任し、2019年より理事・副学長。専門はデザイン学。日本創造学会理事長、日本学術会議連携会員。

小沢 晴司 氏 宮城大学 事業構想学群 教授

北海道大学農学部卒業後、環境省入省。国内外の国立公園等の地域振興と環境保全の調整に従事。2009-12年滋賀県立大学にて環境人材育成プログラム策定を担当。2012-20年まで福島原子力被災地復興のため除染やリスクコミュニケーション活動に携わる。2020年夏から現職。

申し込み方法

事前登録のお願い シンポジウムの参加をご希望する方は会員登録をお願いいたします。

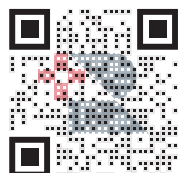
会員登録いただくと、事業レポートのダウンロードや、イベント情報などをメールマガジンにて配信いたします。申し込まれた方には開催前日（2月11日）までに登録いただいたメールアドレス宛に、オンラインアクセス方法に関するご案内を差し上げます。

シンポジウム申し込みは、coc-r.jp のホームページからお願いします。

アドレス：<https://coc-r.jp/information/r3-sympo/>

シンポジウム開催会場（富山県）での参加を可能としておりましたが、新型コロナウイルス感染症に対する対応措置として、参加は全てオンライン参加に変更いたしました。

シンポジウム申し込み▶▶▶



Centers of Community —
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization
through New Human Resources Education Programs

問い合わせ（幹事校事務局）

信州大学 キャリア教育・サポートセンター
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
✉ info@coc-r.jp [web https://coc-r.jp/](https://coc-r.jp/)